

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (2.2) 評価項目の概要とスコア

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.5
Q1 室内環境			0.40			2.7
1 音環境		3.2	0.15			3.2
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音	壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。	4.0	0.20			
2 熱環境		1.7	0.35			1.7
2.1 室温制御		2.5	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 外皮性能		1.0	0.25			
3 ソーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用		4.2	0.30			
1 昼光率	2.5% ≤ [昼光率]。	5.0	0.60			
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30			
1 グレア制御		2.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気環境		3.4	0.25			3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質	JIS-JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00			
4.2 換気		3.3	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33			
4.3 運用管理		2.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		1.0	0.50			
Q2 サブシズ性能			0.30			3.1
1 機能性		2.5	0.40			2.5
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30			
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上。	4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33			
3 内装計画		1.0	0.33			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.8	0.30			3.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.8	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する。	5.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能	サーバールームに免震装置を設置している。	4.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外装仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水 SUS(C)、排水 VP(B)、空調 CUP(C)。	4.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		2.8	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		2.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.3	0.30		-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30		-	
1 階高のゆとり		階高: 3.7m以上、3.9m未満。	4.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30		-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.2
LR1 エネルギー				0.40			0.1
1 建物外皮の暖負荷抑制		BP _{lm} = 0.88	4.2	0.20		-	4.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化			2.9	0.50		-	2.9
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
LR2 資源(水・エネルギー)				0.30			3.4
1 水資源確保			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)を用いている。	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60		-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床: タイルカーペット、複層ビニル床シート。	4.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGSとOAフロアを使用している。	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	5.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物に対して88%。	3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	1.00		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制							
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)井手町新庁舎建設工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-													
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		○	-	-	-	○	-	○		-	○			
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	-	○	-	-	○	-	○	-	○	-		-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	2.0		-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0		1.0	-	1.0	3.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち目に照れる光への対策	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m ² K)	窓システムU値	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
星光率	2.6%	ηAH	-
自然換気有効開口面積率	4.6%		

3.1.1 星光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0m ² /人	病床	.0m ² /床	シングル	.0m ² ツイン	.0m ²
コンセント容量	0.0 VA/m ²					
天井高	2.72 m					
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	3.85 m					
夏長さ比率	23.5%					
床荷重	- N/m ²					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外緑化指数	39%	植緑化指数	0%
空地率	38%	水平投影面積率	3%
		地表面対策面積率	4%
		舗装面積率	6%

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.89	断熱等性能等級	対象外 相当
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	0.0%
		通風を満たす教室数	0.0%
		通風を満たす住戸数	0.0%

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	非住宅 0.81	住宅	-
		太陽光	.0kW
		太陽熱等	.0kW
		蓄電池	.0kW

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
特定調達品目	複層ビニル床シートエコマーク商品
使用比率	0.0%
	タイルカーペット
	自治体指定の特定品目等

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

オン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
オン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1
オン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	88%	隣接間隔指標R _w	0.52
地表面対策面積率	5.0%	屋根面対策面積率	0.0%
		外壁面対策面積率	0.0%
見付面積S _s	898m ²	車線風向と直交する最大敷地幅W _s	78.33 m
		基準高さH _b	17.82 m
緑地	267m ²	水面	m ²
		保水性対策面	m ²
		高反射対策面	m ²
		再帰性反射対策面	m ²